

気候変動対応の視点

伊藤元重

気候変動対応の 3 つの手法

産業・企業による目標設定と実行（エンジニアリング・アプリーチ）

政府による目標設定と規制や支援策（公的介入）

市場的手法の活用：需要サイドとのつながり

社会を総動員できるかが鍵

これまでとは次元の違う本格的な対応が求められる

旧来の供給サイド中心の対応に加えて、需要サイドでの対応の強化が重要

消費者行動、産業や雇用の構造変化、イノベーションの促進などに踏み込んだ対応

多様なプレイヤーの存在を意識：企業、政府、地域、消費者

成長戦略・マクロ政策の大きな転換

成長戦略という視点から見た気候変動対応

企業の視点

気候変動対応に前向きな企業が報われる仕組みの構築

経済全体の成長

気候変動対応を加速化することが、日本経済が長期停滞から抜け出す突破口となる

新しい資本主義と産業政策

民間活力を活用した市場の失敗の是正

海外の主要国の動き

中長期の大胆な目標設定と、緻密な実行計画

人々の意識の変化と行動変容が求められる

エネルギーミックスについて踏み込んだ対応

産業構造が大きく変わることが前提となる

雇用構造の変化の痛みへの対応

資金の流れも大きく変わる

イノベーションが重要な役割を持つ

主要な対応策のためのキーワード

インセンティブ：カーボンプライシング（補助金も含む）

金融： 資金の流れを利用する、グリーンファイナンス

ガバナンス： 企業や政府（ 地方政府 ）のガバナンスの強化

情報開示： 見える化を進める（ カーボンフットプリントなど ）、啓蒙啓発活動

民間投資を促す産業政策